

東京堂書店開催 出版記念トークイベント

「詩と吟遊が羽ばたく場所」

新井高子×川瀬慈

新井高子の新詩集『おしらこさま綺聞』（幻戯書房）、川瀬慈の新刊書『見晴らしのよい時間』（ドロイング：平松麻、赤々舎）の刊行を記念して、詩と吟遊、ことばと芸能……について、心ゆくまで語り合います。自作朗読もします。



日時：2024年6月28日(金) 18時30分start (開場18:00)

場所：東京堂書店 神田神保町店 6階 東京堂ホール

参加費：1500円 (要予約)

予約サイト：<http://www.tokyodo-web.co.jp/blog/?p=23401>

問合わせ：03-3291-5181 (東京堂書店)

新井高子 あらい・たかこ

詩集に『タマシイ・ダンス』（未知谷、第41回小熊秀雄賞）、『ベットと織機』（未知谷）。英訳詩集に『Factory Girls』（Edited by Jeffrey Angles, Action Books, 第1回Sarah Maguire Prize最終候補）等。震災後、啄木短歌を岩手県大船渡市の土地ことばに訳す企画を立ち上げ、編著『東北おんば訳 石川啄木のうた』（未来社）刊行。映画『東北おんばのうた——つなみの浜辺で』（監督・鈴木余位、山形国際ドキュメンタリー映画祭2021アジア千波万波部門入選）を企画制作。戯曲評論に『唐十郎のせりふ——二〇〇〇年代戯曲をひらく』（幻戯書房、第32回吉田秀和賞）。埼玉大学教授。詩と批評の雑誌「ミテ」編集人（新号のpdfが右記のサイトで無料閲覧可）。<http://www.mi-te-press.net>

川瀬慈 かわせ・いつし

映像人類学者。国立民族学博物館勤務。エチオピアの吟遊詩人、楽師の人類学研究を行う。人類学、シネマ、アート、文学の実践の交点から創造的な語りの地平を探求。主著に『ストリートの精霊たち』（世界思想社、2018年、第6回鉄犬ヘテロトピア文学賞）、『エチオピア高原の吟遊詩人 うたに生きる者たち』（音楽之友社、2020年、第43回サントリー学芸賞、第11回梅棹忠夫・山と探検文学賞）、『叡智の鳥』（Tombac/インスクリプト、2021年）。近年は、国際ジャーナル TRAJECTORIA の編集、Anthro-film Laboratory の共同運営を行う。客員教授としてハンブルグ大学（2013年）、ブレーメン大学（2014年、2016年）山東大学（2016年）、アジスアベバ大学（2018年）等。<https://itsushikawase.com>